

福岡女学院大学  
福岡女学院大学短期大学部  
学生・教職員の皆様

福岡女学院大学  
福岡女学院大学短期大学部  
学長 阿久戸 光晴

## 新型コロナウイルスに関する注意喚起について（第4報）

※第3報[2月7日発信]は、教職員向けの周知報

学校保健安全法に定める第一種感染症に指定(2020年2月1日)

国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態(PHEIC: Public Health Emergency of International Concern)該当(2020年1月31日未明 WHO(世界保健機関)発表)

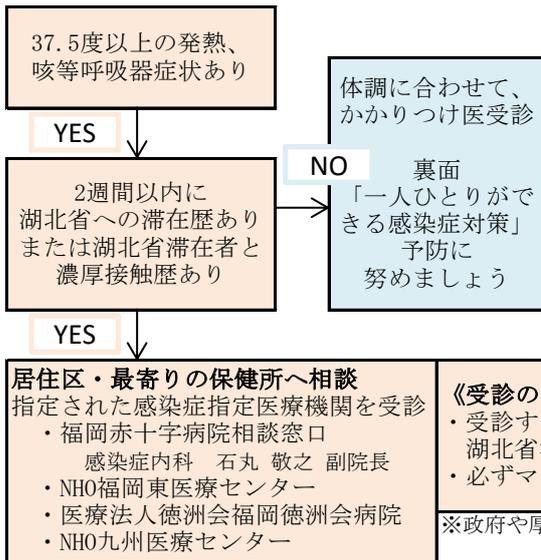
コロナウイルスとは、発熱や上気道感染を引き起こすウイルスで、6種類がヒトに感染を起こすことが分かっています。そのうち、中東呼吸器症候群(MERS)や重症急性呼吸器症候群(SARS)は、重症肺炎を引き起こすと考えられていますが、それ以外の4種類のウイルスは、一般の風邪の原因の10~15%(流行期は35%)を占めます。

中華人民共和国湖北省武漢市での新型コロナウイルス関連肺炎とは、2020年12月以降新型コロナウイルスに関連した肺炎の発生が報告され、中国を中心に多数の国・地域に拡大し、日本国内でも感染者や無症状感染者が確認されています。

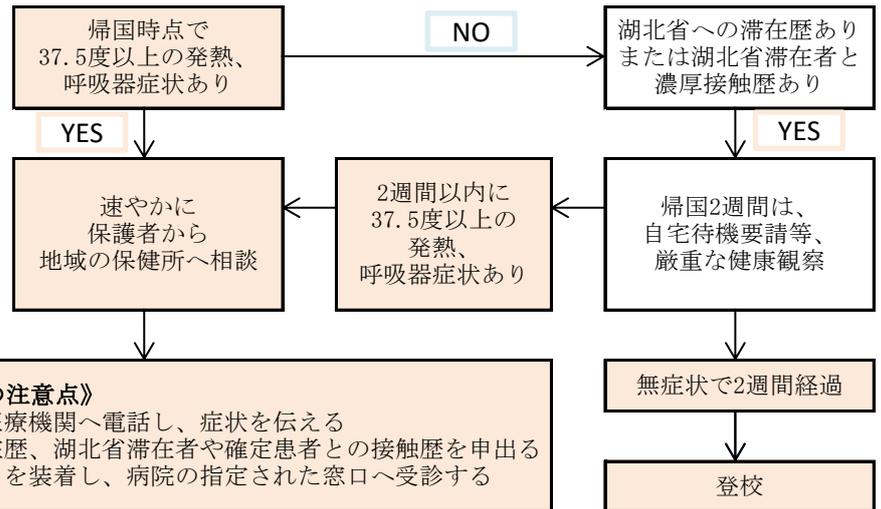
ヒトからヒトへと考えられる感染は拡大していますが、まだ明らかになっていません。他のコロナウイルスの状況等から、潜伏期間は最大14日程度、感染経路は飛沫(ひまつ)感染と接触感染と考えられています。現時点では、一般的な衛生対策として予防に努めることが重要です。特に高齢者や基礎疾患がある方はさらに注意していただく必要があります。

感染の疑いがある場合は、落ち着いて、以下の手順に沿って専門の医療機関を受診してください。

### 《ケース①一般学生》



### 《ケース②中国からの帰国学生》



《受診の際の注意点》  
・受診する医療機関へ電話し、症状を伝える  
・湖北省滞在歴、湖北省滞在者や確定患者との接触歴を申出る  
・必ずマスクを装着し、病院の指定された窓口へ受診する

※政府や厚生労働省、文部科学省の指示により適宜更新予定

外務省は、新型コロナウイルスが発生していることを受けて、中国の在住者及び渡航中又は渡航予定の方へ向けて注意喚起をしています。1月31日に中国全土を感染症危険情報レベル1(注意喚起)からレベル2(不要不急の渡航中止勧告)に、24日に湖北省をレベル3(渡航中止勧告)に引き上げ、湖北省への渡航を控えるよう注意喚起をしています。留学や海外ボランティア、実習等の短期履修プログラム等を計画されている方は、渡航先の発生状況、本学からの「新型コロナウイルスに関する注意喚起 授業などに関する取扱い」をよく確認してください。

新型コロナウイルス感染症の国別危険度(2020年2月5日9時時点発生状況)

韓国: 19名 台湾: 11名 オーストラリア: 14名 カナダ: 5名 英国: 2名 米国: 12名 ベトナム: 10名

お問い合わせ 連絡先	福岡女学院大学・短期大学部 学生課大学保健室: 看護師 福田、嶋田	<b>TEL 092-575-6301(直通)</b>
---------------	--------------------------------------	-----------------------------

## 新型コロナウイルスに関する注意喚起について（第4報）

※第3報[2月7日発信]は、教職員向けの周知報

一人ひとりができる感染症対策

現在は、過剰に心配することなく、「手洗い」「うがい」「咳エチケット」等の通常の感染症対策を行いましょう

①手洗い…帰宅時等室内に入った時、食事の前、動物に触れた時等、こまめに手を洗いましょう



### 「手洗い」のPOINT

- ・1から7までを15秒を目安に2回
- ・特に親指は日常生活で一番使うため「4の親指ねじり」、汚れのたまりやすい「5の爪、指先」は念入りに!!

※最後に、消毒用アルコールで仕上げましょう

③マスクの正しいつけ方…咳やくしゃみ等、

症状のある人は積極的にマスクをつけましょう

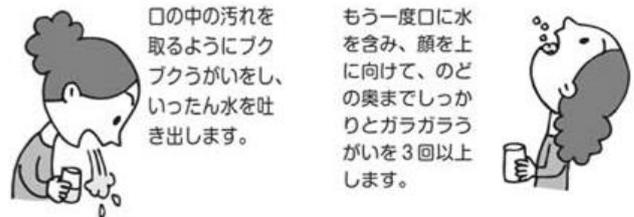


### 「予防用マスクの着用」

混み合った場所、特に屋内や乗り物等、換気が不十分な場所では一つの感染予防策と考えられますが、屋外等では、相当混み合っていない限りは、効果はあまり認められていません。

- ・咳や発熱等の症状のある人に近づかない
  - ・人混みの多い場所に行かない
  - ・手指を清潔に保つ
- 感染予防策を優先して行いましょう

②うがい…帰宅時等室内に入った時はうがいをしましょう



④咳エチケット…咳やくしゃみをする時、ウイルスは2～3m飛ぶと言われます。

感染症をうつさない習慣を身につけましょう

- ①くしゃみが出そうになったら、ティッシュなどで鼻と口を押さえましょう。ティッシュなどが無い場合は、手ではなく周囲に触れにくい曲げたひじの内側などで押さえます。



- ②周りの人から顔を背け、2mくらい離れます。
- ③使用後のティッシュなどはすぐにゴミ箱に捨て、手を洗いましょう。

⑤飛沫・接触感染を避けましょう

学校や人混み、満員電車等の人が多く集まる場所を避け、電車やバスのつり革、ドアノブ、スイッチ等の人が多く触れる場所を触った時は手洗いを心がけましょう



⑥適度な湿度を保ちましょう

50～60%の適度な湿度を保って、のどの粘膜の防御機能を保ちましょう

⑦普段の健康管理

十分な睡眠、バランスの良い食事を心がけ、免疫力を高めておきましょう